50周年記念インタビュー

未来へつながれ夢のかたち

創立50周年を迎えた箕面高校。数多い卒業生の中には、いろいろな分野で活躍されている先輩方が、たくさんおられます。この度、3名の先輩が贈る言葉を寄せて下さいました。箕面高校時代の写真もお楽しみ下さい。

自分の人生をデザインするのは、自分自身

山口清治さん
一期生生徒会長
関西大学卒業
貿易コンサルタント

夢を求めて単身ヨーロッパへ

私は、１９６６年卒業の第一期生です。一浪して１９６７年に関西大学法学部に入学しました。当時は学生運動の真っ只中、４年間の学生生活のうち１年は学園閉鎖で大学に行けませんでしたが、自習とレポートで１９７１年に何とか卒業しました。

就職活動もして内定も得ていましたが、幼いころからの夢であった海外に出る冒険を実現するには今しかないと考え、就職せずひたすらアルバイトをして日本脱出の資金作りに没頭しました。そしてついに１９７３年７月、当時の若者のヨーロッパ旅行の典型的なルートであった横浜から船に乗ってナホトカへ、汽車と飛行機を乗り継ぎハバロフスクからモスクワを経由し、ストックホルムへ行きました。しばらくストックホルムに滞在した後、知人を頼り最終目的地のロンドンに到着しました。ここから私のヨーロッパ生活が始まりました。

当時外貨の持ち出しは１０００ドルに制限されており、３ヶ月もすると資金が底をついてきました。まだ言葉もままならない状況で仕事を探すのは容易ではありませんでしたが、幸い日系の旅行会社にて仕事を得ることができました。折しも日本の海外旅行が盛んになっていた時代で、この会社もパリにオフィスを出すことになり、そのヘルプに行けと１９７４年にパリに出張に出されました。それ以来、パリに住むことになろうとは夢にも思っていませんでした。

当時ヨーロッパ旅行が一般的なものとなり、誰でも外国に旅行できる時代となりつつありました。私はグループ旅行客の世話で寝る間もないほど忙しく、休む間もなく働きました。そんな自分の生活もない忙しさの中、今、自分は幸せなのかー という疑問をいつも持っていました。たとえ忙しくても仕事をすることは嫌いではありません。しかし自分の中でいることが本当にしたいことなのかと自問自答していました。そんなもやもやした気持ちで仕事をしていた時期に、今の家内に出会いました。自分の人生をデザインして彩りをつけるのは自分自身であることを気付かせてくれました。そして旅行会社を辞めました。元来ファッションや物に自分なりのこだわりを持っていましたので、ヨーロッパの製品を日本に、日本の製品をヨーロッパに紹介するコンサルティングの会社を立ち上げました。その最初の仕事がイギリスのメンズファッションデザイナーのポール・スミスの発掘でした。時代の流れと共にファッションから生活雑貨、そしてオフィス家具や工業製品、建築資材、レストランパリ進出まで手掛けてきました。

２０１１年、63歳の時、「元気なうちは仕事を続ける」ではなく、「元気なうちに仕事を終える」の考えで会社を閉め、現在はフリーな立場で仕事を受けながら、フランスの年金生活者として自由に時間を過ごしています。

箕面高校時代の思い出

一期生として新しい高校に入学しましたので、先輩のブレッシャーのない自由な雰囲気が満ち溢れていたように思います。新設校であったが故に伝統に縛られず、自由な雰囲気の中で高校生活を送れたことが、その後の私の生き方の基礎になりました。今現在も自由な校風は引き継がれているようですね。

初代生徒会長に当選

全くの偶然です。当選するとは夢にも思っていませんでした。私は学業の成績も悪く、どちらかと言えば消極的で出来の悪い生徒でした。新しい学校に来たんだ！何かびっくりするようなことをして驚かそうと思ったのです。確か４人くらいいたのでしょうか、順番に放送室で演説しています。自分の考えや方針をアピールしました。リンカーンの言葉を引用して「生徒の生徒による生徒のための生徒会」を目指すようなことを話しました。印象的な言葉の引用、話し方や声の大きさが放送という媒体で良い印象を与えたのだと思います。そんなわけで優秀な候補者を差し置いて私が当選してしまいました。

海外で活躍する夢を抱く若者へ

海外で活躍するといっても色々なスタイルがあります。会社や研究機関など駐在や派遣で送られる場合や、私のように個人として外国に出ている場合があります。現在では、Working Holidayなど短期にいこなことなのかと自問自答していました。そんなもやもやした気持ちで仕事をしていた時期に、今の家内に出会いました。自分の人生をデザインして彩りをつけるのは自分自身であることを気付かせてくれました。そして旅行会社を辞めました。元来ファッションや物に自分なりのこだわりを持っていましたので、ヨーロッパの製品を日本に、日本の製品をヨーロッパに紹介するコンサルティングの会社を立ち上げました。その最初の仕事がイギリスのメンズファッションデザイナーのポール・スミスの発掘でした。時代の流れと共にファッションから生活雑貨、そしてオフィス家具や工業製品、建築資材、レストランパリ進出まで手掛けてきました。

２０１１年、63歳の時、「元気なうちは仕事を続ける」ではなく、「元気なうちに仕事を終える」の考えで会社を閉め、現在はフリーな立場で仕事を受けながら、フランスの年金生活者として自由に時間を過ごしています。

仕事をしながら学べるシステムもありますが、いずれの場合でも言葉や習慣の違う外国で生活するわけですから、住む国のイメージにとらわれ過ぎずオープンな心で、その国の文化や国民性や習慣を理解しながら現地に溶け込む努力をすることが大切です。

私の場合は、組織、肩書き、経歴にとらわれない自由な生き方と新しい自分の発見を求めて海外に出ました。いろいろな壁や困難にあいましたが、初心を忘れず、日本人としての誇りを捨てず、目標を見失わないことを心がけました。そして、最も大切なことは人と出会い、学び、与え、たくさんの素晴らしい人に出会い、学び、与え、理解に努めたことが仕事にも個人的関係にも生かされ、一生の財産になっています。

海外で活躍したいと思うこと自体がチャレンジであり冒険です。自分の力を信じ、その夢を実現して欲しいと思います。

以上、これから外国に出て活躍したいと思っている人の参考になれば幸いです。

勉強・部活・遊び・全力で取り組んで。

池田　聡さん
42期生（国際教養科）
大阪大学外国語学部卒業
三菱重工業株式会社勤務

50周年おめでとうございます。久しぶりに母校の話を聞き、懐かしく感じています。私は現在、重工業メーカーで新興国に発電所を作る仕事に携わっています（文系職種）。会社員らしくデスクワークが主ですが、たまに海外出張にいけたり、思いもしないトラブルが発生したりと中々刺激の多い日々を過ごしています。

自分の知る箕面高校生は、いつも元気が余っており、イベント事で力を発揮するタイプが多かった様に思います。それが箕面高校らしさという風に感じていました。今はいかがでしょうか。

勉強・部活・遊びをそれぞれ最高のバランスで楽しむことのできる素晴らしい学校です。在校生の皆様は、どこに力点を置くにしても、可能な限り全部楽しめる様、何にしても全力で取り組んで欲しいと心から思います。

やり続けること

有馬隼人さん
31期生（普通科）
関西学院大学卒業
アサヒビール
シルバースター所属
アメリカンフットボール選手

箕面高校のみなさん、こんにちは、卒業生（31期）の有馬です。私が箕面高校に入学したのは20年前になりますが、いまでもその頃に自分が考えていたことや、人から教わったことは鮮明に思い出すことができます。箕面高校での3年間は印象深く、また立ち返る場所でもあり、これからもずっと、私の心の支えになることは間違いありません。

一歩踏み出して、いろいろなことにチャレンジして、大切な時間を過ごしていただきたいと思います。

おまけ

新旧生徒会長の語る　箕面高校の今

（左）前期会長　小竹真里さん（48期生）
（右）後期会長　鈴木里奈さん（49期生）

小竹…私が生徒会長になったのは、やはり学生生活を楽しくしたいからです。二つの学科は違う雰囲気なのですが、お互いを認めているところが箕面高校の魅力。先生も含めて、そのまま受け入れ合っているという感じ。それは自由な校風が土台だと思います。

鈴木…私は小竹さんを見ていて、次は私がもっともっと楽しい学校にしたいんです。

小竹…従来の懸案だった9月開催の体育祭を本年度から6月にしました。多くの御意見があり、陰では先生方や保護者の方の協力、そして生徒達の団結力でやり遂げて、本当によかった。文化祭にも余裕を持って臨めました。

鈴木…私はまだ就任一ケ月なので、小竹さんが学校に来ている間に、色々教わりたいことがいっぱいあります。

小竹…卒業後、アメリカの大学への進学準備をしています。同期では6人が海外進学と聞いています。大学生になるのは、来年の9月だから、卒業してもちょっと覗きに来ちゃいますよ。

鈴木…是非そうして下さい。待っています。

取材をした日はおりしも、ハロウィーンの前日。小竹さんの準備したほうきに二人乗り（？）して仲の良い二人でした。

Let's Enjoy

クラブのモットー or 目標を聞いてみました。

ボクシング部　楽しくボクササイズ！

放送部　ななめ45°！

演劇部　年中無休！楽しくやってます！

漫画研究部　とても賑やかな部活です！部員募集中！

英語同好会　FREEDOM！

茶道部　めざせ！やまとなでしこ！

民謡研究部　めざせ！武道館！

文芸部　みんなに喜ばれる作品づくり！

台気道部　礼儀正しく、部員の絆を深めたい！

美術部　のびのび活動！ブロック展出展！

吹奏楽部　最高の定期演奏会にする！

剣道部　卒業までに全員2段！

エレクトロニクス部　PCにとらわれず色んな活動をする！

邦楽部　みんなで和気あいあいとがんばる！

家庭科部　いつも美味しく！いつも楽しく！

華道部　部員大大大募集！

ダンス部　はばたけ！世界へ！

☆第5回日本高校ダンス選手権ダンススタジアム・全国決勝大会
SMALL クラス　優勝＆文部科学大臣賞
BIG クラス　優秀賞
☆全日本ダンスドリル選手権大会・全国決勝大会　第3位
2013年4月ダンスドリル世界大会　日本代表出場権獲得

輝かしい成績を数々収めている箕面高校ダンス部。通称「みのだん」。顧問の高木先生（以下㊟）と、副部長さん（以下㊜）2人にインタビュー！

―高木先生がダンスをはじめたきっかけは？

㊟僕がダンスをはじめたのは高1の時。それまではハンドボールをしてました。きっかけになったのは、TV番組「めちゃイケ」でナイナイの岡村隆史がSMAPのコンサートで踊ってるのを観て、カッコいいなぁ、自分もこんなダンスしたいなあ、って軽いノリでロックダンスを始めたんです。今の子どもたちはEXILEの方しか知らないと思うんですけど、第一弾はSMAPやったんです。大学でサークルでダンスを続けて、好きな者同志で集まったチームで日本一（全国大会一位）にもなりました。

―コーチングのポイントは？　先生コワい？

㊜コワいです（笑）

㊟もともとそんなコワい人間では無いと自分事には信じているんですけど。やっぱりダンスのもあります。授業とは違って好きな者が集まった部活動というのもあるので、伝えられる事を全部伝えたい。だから厳しさや熱意もいつも伝えています。

―ダンス構成のポイントは？

㊟そんなにこだわらず、楽しめれば良いっていう事を中心に考えるダンスもあります。ですがコンテストで勝負しにいくダンスは、限られた2分半という時間の中で他と違うところを見せなあかんとか、際立たなあかんっていうところが必要なので、見せ場を2分半に散りばめながら飽きさせない工夫をしています。その中でも「つかみ」「中押し」「ダメ押し」の3つがあるんです。最初の10秒位で、うぉー！って前のめりになってもらうことが、もの凄く大事なころなんですよ。最初に〝このチーム違うな〟って思わせる「つかみ」。ダンス中盤の中だるを、グッ！っと持ち上げる「中押し」。最後の終わり方で印象が良くなるか悪くなるか非常に大きなところなので、観てる方もテンションが上がっていくように持っていく「ダメ押し」。この振り付けと構成にすごく気を使っています。11月に、北摂地区が集まる発表会があって、それに関しては子ども達だけで一から十まで作ってごらんっていう話をしてるんで、楽しみにしてます。

㊜北摂地区大会には、2年生全員30人で出る予定です。

―ダンスをするうえで一番大事な事は？

㊜楽しみ、楽しませる。自分が楽しむっていうのも大事ですし、練習してきた中で生まれた気持ちも大事です。一人で踊っているわけではなくて、みんなで作り上げてきて、色んな人に支えられてるという感謝の気持ちを忘れずに踊ろうと思っています。

㊜何より、やらされてるとかじゃなくて、ほんまにやりたくて楽しくてっていうのが一番大事やと思うんで。自分の好きなことをやっていく上で色んなサポートがあって、先生がいてっていう恵まれた環境の中でやれるっていう事、すごい大切なんなって思います。

―上達の秘訣は？　スランプの克服法は？

㊟高校の部活って限られていますよね。うちの部活に関しては2年間しか活動が出来なくて、その2年間でどれだけ一生懸命頑張れるかっていうところで物凄く変わってきます。リズム感や運動神経はその次です。

㊜スポーツとまた全然違ったものがあって、ダンスは人が観る目線での評価やったり、センスとか価値観の違いとかもあって、自分はこれが良いと思ってもダメやったり。その中で上達していくのは、先生のダンスを真似たり、色んなダンサーのダンスを見て、そして自分の経験を積む。スランプで出来なかったり、伸び悩んでも、屈せず諦めない気持ち。「それでも楽しい」っていう気持ちに自分を持っていく。好きな事なので、精神的には頑張れるけど、その分身体がついていかなかったりするんで体力もつけないと。いっぱい食べます（笑）

―今の目標は？

㊜アメリカの大会が一番大きいけれど、11月の北摂発表会が最優先課題です。自分たちで作っていかないといけないので。大きな大会ではないけれど、自分たちのオリジナルを作りたいです。世界大会では今の2年生最後の舞台なので、行きたい！　頑張りたい！

㊟来年4月の世界大会に行けるように頑張っています。渡航費とか自己負担になってしまうので、その辺りの兼ね合いもあり、最終的に出るか出ないかっていうのをこれから考えていかないといけないんですが。

―先生から部員に一言

『がんばろ！』

―読者に一言

「これからも応援よろしくお願いします！」

青楓祭（文化祭）で圧巻の舞台をみせてくれたダンス部。みなさんの記憶にも新しいことと思います。あの時の高木オバQのメイクは、部長（2年）の大西さんが描いてくれたそうです！衣装のほとんどが部員の手作り。曲のレパートリーは10曲くらい。1・2年だけで部員80名。今年は、高木先生赴任以来初の男子部員加入で、先生自身嬉しく、今後がとても楽しみだそうです！　まだまだ男子部員大募集中だとか。紙面の関係上、抜粋記事となりましたが、先生や副部長さんたちのダンスに懸ける熱い熱意と努力を皆さまにお伝え出来たでしょうか。今回の取材をきっかけに、箕面高校ダンス部のオフィシャルブログを発見！高木先生が、日々のダンス部の活動などを更新されています。先生の「みのだん」に対する深イイ思いがたくさん詰まっていました。

忙しい放課後に、貴重な時間を割いてインタビューに応じてくれた高木先生、副部長（2年）の足立さん、滝本さん。本当にありがとうございました！

※取材の時点では、アメリカ行きは未定でした。

☆ダンス部保護者後援会からのお知らせ☆

ダンス部記念公演決定！
12月22日（土）19時～20時半
箕面グリーンホール（当日券1,300円）

箕面高校のみなさん、保護者の方々へ日ごろの感謝の気持ちを込めて精一杯踊ります。迫力あるステージを是非ご覧ください。

またダンス部は来年4月に米国で行われる世界大会に日本代表として出場することが決定しました。これからもご声援よろしくお願いします。